

記入方法 ABCの3段階評価です。該当する欄に記入して下さい。(A:大変その通り B:まあまあその通り、C:改善を要する。)・項目毎に意見・改善策を記述して下さい。						人数× 点数	総数÷ 人数	意見・改善策	園評価 A2.3以上 B1.5以上 C0.8以上 D0.8未満	
項目	年度	番号	内容	A(3)	B(2)	C(1)	評価の 総 数			評価の 平均点
保育について	毎年	①	園目標や方針を理解し、日常の保育に反映している。	9	18	0	63	2.3	<ul style="list-style-type: none"> ・どう環境を工夫したら良いか日々悩みながら保育している。同じクラスの担任の先生の保育から学ぶことも多く、複数担任制の良さでもあると感じるので、たくさん吸収していきたい。 ・保育中忙しかったり、夢中なったりしてつい呼び捨てで子どもを呼んでしまうことがあり、はっと気付くので気を付けていきたい。 ・言葉は気を付けている。 ・夏は気温、その他は熊で外遊びができなかったり、できても短い時間だったりということが多く、大変だった。もっと広いところでたくさん遊ばせたい。 ・子どもの成長に合わせた保育をするようにしている。 ・より良い保育について、職員間での話し合いの時間をもっととれるようにしていきたい。 	A 平均点 2.3
		②	週日案・月案などの指導計画は園児の興味・関心意欲に合わせて、保育の連続性や季節の変化を考慮して作成している。	14	7	0	56	2.6		
		③	指導計画を園児の発達の姿、興味・関心に基づいて見直し、次の計画作成に生かしている。	8	13	0	50	2.3		
		④	環境の構成を配慮した保育を常に工夫している。	5	22	0	59	2.2		
		⑤	教材を研究し、素材・用具を適切に活用している。	9	16	1	60	2.3		
		⑥	職員間で保育について話し合い、より良い保育の改善に努めている。	11	17	0	67	2.4		
		⑦	正しい、美しい言葉で園児に話している。	0	26	4	56	1.9		
行事について	毎年	①	行事の種類や実施回数は適切である。	10	18	2	68	2.2	<ul style="list-style-type: none"> ・運動会では、内容を子どもたちに合わせ、今までよりも簡単にしたことで、練習だけになりすぎず、楽しんで行うことができて良かった。 ・清太郎さんの森遊びは検討を要する。 ・行事に追われてしまう月もあるが、頑張っについていけるようにした。 ・近年の暑さ、熊出没等を考慮していく必要を感じる。例年行っているから…という考えでは危険だと思う。子どもたち、職員の安全を第一にしていきたい。 ・乳児クラスのため、説明することが難しい(行事について)ので、工夫していきたい。 	A 平均点 2.3
		②	行事のねらいを計画や実施に十分生かしている。	10	18	0	66	2.4		
		③	乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしている。	11	19	0	71	2.4		
経営・組織	令和7年	①	能率的、合理的な運営組織になっている。	4	17	8	54	1.9	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園も複数担任に変わってきているが、改善が必要なことも多い。職員それぞれ担っている仕事も違い、同じ仕事量ではないが、今より少し周りのことや人に気にかけてもらえたら協働できる体制になっていくのではないかなと思う。 ・同じ方向を向くために話し合いが必要だと思う。幼稚園もリーダー会議を取り入れると学年を超えた交流がしやすいと思う。 ・勤務体制、シフト割りがかまわっていない。全員で考えを出し合い、検討することが必要だと思う。 ・係の仕事を保育園の先生に負担が多くなってしまい申し訳ないが、助かっている。 ・今年初めての体制であったため、慣れないことも多く大変であった。次年度も同じ体制であるならば、改善を要する。 ・それぞれの係の仕事に責任を持ってやってくれていると思うが、全体として誰がどの仕事をしているのかが理解できていないように感じる。 ・常にはないが、人手が足りず、子どもの活動を制限してしまう時間がある。また、他のクラスでも大変そうに感じる場面が多い。臨機応変に動ける職員の配置が必要だと感じる。 	B 平均点 1.9
		②	職務内容が明確(誰がどの仕事をしているかを理解している。)で、協働できる体制になっている。	4	19	6	56	1.9		
		③	職員の配置は適材適所である。	3	17	9	52	1.8		
		④	係の仕事や分担割り当ては適切である。	3	26	0	61	2.1		

経営・組織	特別支援教育	令和7年	①	園内委員会を設置し、全職員で情報を共有し、チームで対応する体制になっている。	7	18	1	58	2.2	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援のお子さんに関する情報の共有はしていて、専門機関との連携もされているように思う。 ・秋田市で5歳児健診が始まる案があるようで、それに合わせて園内で気になる子についてその機関と事前に共有する上で、ご家族にどう伝えていくかを検討する必要があると思う。 ・特別支援児の対応は難しい。専門機関に通っていないお子さんの場合、手立てが難しい。1人先生をつけられたら尚良いと思う。 	A 平均点 2.4
			②	支援児の保護者の気持ちを受けとめ、家庭との連携を密にし、専門機関との連携を図りながら職員間で情報の共有をしている。	13	14	0	67	2.5		
			③	障害のあるなしに関わらず、どの子からも持ち味の良さを感じるように配慮している。	10	17	0	64	2.4		
研究・研修	園外研修	令和7年	①	各種研究会、研修会、講習会への参加態勢の充実を図っている。	13	15	0	69	2.4	<ul style="list-style-type: none"> ・全員均等に研修の機会をいただきありがたく思う。回覧でまわってくる研修報告で知っておきたいこと等があった時にコピーをとって持っておきたいと感じることも多い。 ・研修について、多くも少なくもなかったと思う。 	A 平均点 2.5
			②	各種研究会、研修会、講習会での内容を職員に伝え、共通理解を図っている。	15	12	0	69	2.6		
開かれた園作り	施設・学校交流・連携	令和7年	①	他施設の年間交流計画は、保育目標や重点目標に基づいて、計画、実施されている。	8	19	0	62	2.3	<ul style="list-style-type: none"> ・学年によって交流の有無はあるが、園と小学校の交流回数は適切だと思う。 ・小学校との交流については、どうしても年長組に限られてしまう。授業の参観、行事への参加等、他の職員の参加はできないものか。また、進捗状況や交流ではどうだったか等の報告があれば園全体で共有できると思う。 ・熊、感染症対策もあり、他施設の乳幼児との交流は難しいのが現状。 	B 平均点 2.2
			②	他施設の乳幼児や児童生徒と触れあう中で、乳幼児が楽しく過ごし、充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っている。	5	21	2	59	2.1		
			③	職員間で打ち合わせや事前研修・合同研修を行い、互いの保育・教育に対する理解を深め、援助について共通理解を図っている。	7	20	0	61	2.3		
			④	参観や保育・授業に参加し、保育園・幼稚園・小学校の保育・教育を理解している。	11	16	0	65	2.4		
			⑤	日常的に情報を交換し、それを交流活動に生かしている。	6	20	2	60	2.1		